

3 2回目評価

3-① 自己評価 【 評価日 : 3月6日

評価者・組織(名称) : 学校運営協議会】

分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	改善策
1 保育	豊かな体験活動	教職員・保護者アンケート	前期に引き続き、園での体験活動や、豊かな心の育成を目指す保育について、また、個に応じた指導については、ポイントが高かった。コミュニケーション力の育成や人とかわる力については、個人の姿によってはどちら方に迷いがあり、「わからない」という票がごく少数あった。	更に保育内容の一層の充実に取り組むとともに、児童理解に努め、一人一人に応じた保育の徹底を図る。また、子ども一人一人の思いを受け止めるとともに、コミュニケーション力を育てる集団の育成に努める。
	個に応じた指導	教職員・保護者アンケート・記録		
	コミュニケーション力の育成	教職員・保護者アンケート		
	人とかわる力	教職員・保護者アンケート		
2 教職員	協力体制	教職員・保護者アンケート	園内の教職員の協働体制が強固なものとなり、子どもの育ちについて、共通理解が深まっている。そのためか、園の教職員のについても良い評価が得られている。また、研修会にも参加し、自己研鑽に努めてきている。	今度一層の努力をし、より信頼が得られるように保育の充実を図る。 より良い保育のために、個々の教職員の力量を高めていきたい。
	保育の充実と研修	園内研修の実施状況・各種研修会参加率		
3 連携	地域との連携	教職員・保護者アンケート・参加率	前期同様、小学校以外の校種間連携や地域との連携について、成果が見えにくいのか、ややポイントは低めであった。家庭との連携は、子どもの育ちをできるだけ丁寧に伝えながら共有してきた結果が表れていた。	今後も保護者には、個の姿や発達の様子、課題について、より具体的に丁寧に伝え、教育への理解を図るようにする。 地域の中の幼稚園、地域との連携については、意義や成果について、より具体的に発信していく必要がある。
	家庭との連携	教職員・保護者アンケート・教育相談の件数		
	幼小連携	教職員・保護者アンケート・事前事後の話し合い		
4 その他	情報発信の充実	教職員・保護者アンケート、園便り、楊梅便りの内容の充実、HP更新状況及びアクセス数	ホームページは毎日更新し、その日の子どもたちの様子を伝えている。「ホームページを見て…」「楊梅幼稚園に行きたいと思う」など、入園数の増加にも直結している。	ホームページはより充実させていきたい。また、園を選択するための基本情報をわかりやすく載せたり、未就園の情報をより充実させていきたい。 「楊梅便り」については、情報発信という側面については、その効果を検証していきたい

3-② 学校関係者評価 【 評価日 :

評価者・組織 : ○学校運営協議会 , 学校評議員 (いずれかに○)】

評価結果	改善に向けた支援策
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は幼小連携の行事をさらに教育的意義を重視した内容に改善していった。 ・生活発表会をやり遂げた子どもたちの姿から、人とのかかわり、表現する力、コミュニケーション力などの成長した側面を見ることができた。 ・朝マラソンや徒歩での園外保育の回数を重ねるごとに、子どもたちの体力がついてきている。 ・個々の子どもの姿を見つめ、保護者に伝えていくことで、家庭との連携が深まった。 ・ホームページの更新により、他府県からの転入者の問い合わせが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立地を生かし、引き続き幼小連携の充実を図る。 ・丁寧に子どもの育ちを伝え合い、共有する機会を大切にしていき、家庭との連携をより深める。 ・ホームページを見られない家庭でも情報を共有できるような方策を検討する。

4 総括・次年度の課題

- ・幼小連携の更なる充実に向けた働きかけや取り組み、その成果の検証をする。
- ・子育て支援の未就園児の教育相談の機会をより充実させ、魅力的な取り組みを増やし、園児確保に努める。
- ・預かり保育のさらに発展させ、教育過程と関連付けた取り組みをする。
- ・教育環境の更なる充実に努め、児童の主体的な活動を促し、生きる力へつながる生活を保障する。